

## 実践記録（中・特別支援学級・自立活動）

### 1 単元 どっちがいいか話し合おう

### 2 ねらい

決められた題材に対して自分の意見を持ち、仲間の意見を取り入れて自分の考えを深めていくことができるようにする。

### 3 手立て

#### ・ 自分の意見の根拠を明確にする活動

自分の意見を「なぜそう思ったのか」と自問自答しながら自分の意見の根拠を明確にしていく「なぜなぜシート」を活用して、題材に対して自分の立場（どちらがよいか）を明確にし、その根拠を考えて意見をより具体的にできるようにする。

#### ・ 仲間の意見を取り入れて、自分の考えを深める活動

「仲間と話しシート」を活用して、仲間自分の意見を伝えるとともに、その意見に賛成・反対・質問の意見をやり取りする中で、自分の考えを深めることができるようにする。

### 4 指導計画（9時間完了）

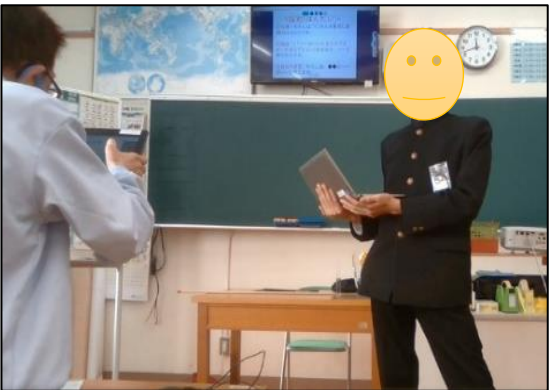
- (1) デクテーション機能を使ってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
- (2) 意見をもとう「ごはんとパン、どっちがすき？」・・・・・・・・・・ 2時間
- (3) 意見を発表しよう、仲間に質問しよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (4) 意見をもとう「リンゴとバナナ、どっちがすき？」・・・・・・・・・・ 3時間
- (5) 意見を発表しよう、仲間に賛成・反対をしよう・・・・・・・・・・ 1時間

### 5 実践の様子

時数	主な学習活動
第1時 ～ 第2時	<p>(1) デクテーション機能を使ってみよう</p> <p>第1時と第2時では、Wordのデクテーション機能を使用する練習を行った。当学級の生徒は、話すことについて機能的な障害はないが、文字を書くとなると、スムーズに言葉を書いていくことができない生徒がいる。そのような生徒を支援するために、デクテーション機能を用いることにした。</p> <p>各生徒にヘッドセット付のマイクを配付し、タブレットに向かって「今日、学校でしたこと」を吹き込ませた。今まで書くことやタブレットでタイピングすることに苦労していた生徒たちが、生き生きとデクテーション機能を使い始めた。音声で入力した言葉や文章は、ショートカットキー（Ctrl+Aの全選択、Ctrl+Cのコピー、Ctrl+Vの貼り付け）を使ってロイロノートのテキストに貼り付けた後、教師に送るようにさせた。</p> <p>今まで文章を作ることができなかった生徒が、「先生、送ったから見て！」と自慢げに教えてくれた姿が印象的であった。</p>



<p>第3時 ～ 第4時</p>	<p>(2) 意見をもと「ごはんとパン、どっちがすき？」</p> <p>第3時と4時では、ロイロノート上で「なぜなぜシート」を使用して、「ごはんとパン、どちらがすき？」という題材に対して自分の意見をもつ活動を行った。</p> <p>はっきりと「ご飯が好き。」「パンがいい。」と自分の立場を明確にできる生徒もいたが、「どちらでもいい」と言う生徒もいた。そのような生徒には「ごはんとパンのいいところや、よくないところを考えてみてから立場を決めたらどう？」と声を掛けた。すると、全生徒が自分の立場を決め、その立場を取った理由を考えていくことができた。タイピングが苦手な生徒は、ディクテーション機能とショートカットキーを使って、シートに文字を入れていった。最初は「おいしいから」という理由だけにしてきた生徒も、教師が「どういうところがおいしいと思ったの?」「味以外でもいいところはある?」などのような声掛けをしていったことで、自分自身で理由を深めていくことができていた。</p> <div data-bbox="906 362 1417 712" data-label="Image"> </div>
<p>第5時</p>	<p>(3) 意見を発表しよう、仲間に質問しよう</p> <p>第5時では、「なぜなぜシート」で作成した自分の意見を基に、クラスの生徒たちの前で自分の意見を発表する活動を行った。自分の意見の根拠を明確にしたことで自信が付いたためか、教師が「最初に発表したい人いますか?」と聞くと「はい!」「はい!」と多くの生徒が手を上げていた。</p> <p>また、「ご飯が好きです。ご飯はおかず合うお供だからです。」という仲間の意見に対して、「どんなおかずが合いますか?」と質問する生徒の姿も見られた。日頃は仲間に対してあまり関心がない生徒が、仲間の意見に興味をもって質問をすることができていた。</p> <div data-bbox="906 882 1417 1276" data-label="Image"> </div>
<p>第6時 ～ 第8時</p>	<p>(4) 意見をもと「リンゴとバナナ、どっちがすき?」</p> <p>第6時～第7時では、前回の題材から内容を変えて、「リンゴとバナナ、どっちがすき?」という題材で新たに意見を考えさせた。「なぜなぜシート」を使用して自分の意見をもった後、その意見を「仲間と話シート」に写させた。早めに意見をもつことができた生徒は、「仲間と話シート」を生徒間で送り合い、シートを通して意見を伝え合った。ロイロノート上でシートを送り合うことは、SNSやメールのようなやり取りに似ており、生徒たちは楽しみながら進んで意見を交換し合っていた。</p> <p>第8時では、リンゴ派とバナナ派の二人の代表生徒の意見を基に、賛成意見と反対意見の双方を考える練習をした。「先生、〇〇君の意見面白いですね。」「僕は違う考えです。」などと声を掛ける生徒もおり、仲間の意見に対して、新たに自分の立場や理由を考えることに前向きに取り組む姿が見られた。</p> <div data-bbox="906 1451 1417 1845" data-label="Image"> </div>

<p>第9時</p>	<p>(5) 意見を発表しよう、仲間に賛成・反対をしよう</p> <p>第9時では、前時に代表生徒が作成した「仲間と話シート」を基に、意見発表と賛成・反対・質問の意見をする活動を行った。発表者に対して反対の意見を発表することは、互いの気持ちを気遣わなければならない難しさがあるため、発表前に反対する時のポイントを伝えておいた。</p> <p>まず、リンゴ派の生徒が前に出てきて、「リンゴの甘みとヨーグルトの酸味を合わせると大変おいしいからです。」という意見を発表した。その意見に対して、賛成派からは「皮をむいて、かじるものうまいからです。」「リンゴはジュースにしてもおいしいからです。」などの意見が出たが、反対派からは「リンゴは甘すぎます。」という意見も出た。発表者の生徒は、仲間の意見を聞いてうなずきながら感心している姿が見られた。</p> <p>次に、バナナ派の生徒が前に出てきて意見の発表を行った。「チョコアイスのバナナ味が好きだからです。」という意見に対して、反対派からは「バナナは甘すぎると思います。私はかじると食感のいい、リンゴが好きです。」という意見や、賛成派からは「私は〇〇君のチョコアイスの話を聞いて、食べたいと思ったからです。」などの意見を出すことができた。</p> <p>自分の考えだけでなく、仲間の意見を聞いて、自分の意見に取り入れたり、自分の意見を変えたりする生徒も出てきた。</p> <div data-bbox="853 235 1417 660" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;反対(はんたい)するときのポイント&gt;</p> <p>①意見(いけん)に反対(はんたい)してもその人自身(じしん)を否定(ひてい)しない。 ⇒「〇〇さん、きらい!」×</p> <p>②反対の理由を伝える前にその人の意見のいいところを先に伝える。 ⇒「~~はいいと思うのですが」○</p> </div> <div data-bbox="853 689 1406 1077" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>
------------	---

## 6 成果と課題

- なぜなぜシートを使用して意見を考えていくことで、立場を明確にして根拠のある意見をもつことができた。
- 普段、関わりの少ない生徒同士が仲間と話シートでやりとりしたり、発表した意見に対して賛成・反対・質問などをしたりすることで、互いの意見に興味をもって意見交換することや、いいと思う仲間の意見を取り入れて自分の意見を深めていくことができた。
- 仲間の意見取り入れる際に、そのまま仲間の意見を引用してしまい、自分の意見がなくなってしまう生徒がいた。
- Wordを使ったディクテーション機能の使用や、ロイロノート上でシートのやりとりをすることは、生徒たちの障害の壁を越えて仲間同士のやり取りをする手段として有効であったと考えるが、各アプリを操作してシートを作成すること自体には難しさがあり、自立して操作を行うことができない生徒もいた。